

平成30年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台明德幼稚園

当園ではこの度、平成30年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

鶴山台明德幼稚園では、徳育を中心として知育・体育・国際化教育と4つの柱をたて、バランスのとれた教育を実践しています。お父さん、お母さんを大切にできる子供に、また思いやりのあるやさしい子供に、そして誰にでも元気に挨拶のできる子供に成長してくれることを願い、教職員、講師自らが徳性を身につけ、子供たちにより感化が与えられるよう、日々研鑽努力をしています。

遠足、運動会、お芋掘りなどのいろいろな行事や、絵画制作、英語レッスンなどの活動を通して情操教育にも、力を入れています。又、同年齢はもちろんのこと異年齢の子ども達とのかかわりを持つことによって育つ、年長児としての自覚と責任感、年中児・年少児にとっては安心して参加できるというねらいのもと、「なかよし保育」を園内での活動や園外保育に取り入れています。子ども達のよいところをたくさんみつけ、保護者の皆様と手を取り合って、すばらしいお子様を育てていきたいと考えています。

II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上 ●教職員間の連携強化 ●安全管理体制の充実 ●園全体の発展

III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み内容	
1	教職員の資質向上	B	挨拶をはじめ手洗いやうがいを毎日しっかりと行い、教職員が子ども達にとって良い見本となるように取組み、基本的な生活習慣が身に付くように指導しました。子どもたちへの教育の質を向上させるために、職員は研修に参加して各々スキルアップを図っている。職員同士で頻りに意見交換を行い、子ども達のより良い教育のために皆で考える風土ができている。クラス目標を子ども達の見えるところに掲示し、自然に意識できるようになった。聞く、考える等の他に自分で調べ探求し、自分の意見を言うことができるような取組みを試みていきたい。子ども達への声掛けや接し方に気を付けた結果、日々の保育や行事ごと、練習事を通して子ども達に成長が見られた。
2	教職員間の連携強化	B	朝礼や終礼はもちろん、リーダー会議及び各行事前にはミーティングを行い、教職員皆が動きを把握して行動するように努めた。会議等では記録を残して、参加できなかった教職員には後日に伝え、園全体で情報共有をするシステムがきちんとできていた。バスなどで朝礼に出れない際でも、ノートを用いて記しているため口頭だけでなく分かりやすく、他学年の動きの把握や当番の交代に関する理解に役立っている。感染症の人数などを全体で捉え、どの先生も他のクラスの状況や子どものことを知る事に努めた。終礼に全員が出られるような配慮は引き続き必要であると考えられ、個人的に記録をとり、それぞれに分かりやすくファイルする等、内容を見返す工夫をしていきたい。

平成30年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台明德幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
3	安全管理体制の充実	避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	A 訓練を重ねることで、年度後半には放送が入るとすぐに避難対応することが出来てきた。子どもたちも放送が入った時には耳を傾け、その内容に応じて行動することが出来ている。定期的に避難訓練を行うなかで、その回数や方法が適切であるか振り返り検証し、確認しあうことが出来ている。避難訓練はそれぞれ地震、火災、不審者対応と毎回異なるケースで実施し、訓練後は教室で振り返りの時間をとることが出来ている。訓練の都度再確認することで反省点を活かし、子ども達も避難訓練を意識するようになってきた。
		子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。	A 当番制をとることで教職員が交代で遊具や周囲の点検を行い、安全確認を行っている。その結果、日直が点検を行うことが習慣化し、遊具に目を向けるようになり意識が高まっている。遊具点検はチェック項目に沿って行っており、異常や不具合、破損箇所は園長先生へ速やかに報告している。また、戸外遊びで外に出た際もチェックシートの項目を教職員が個々に把握しているため、常に注意を払うことができています。安全点検を行うようになって以来、今までは気にしなかった箇所も気を付けて見るようになった。年に1回は業者へ点検を依頼する等事故を防ぐ取組みを続けていく。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。	C 保護者アンケートでの意見から改善すべき点、見直すべき点について考察していく姿勢がとれている。アンケートでの意見から、改める点は改善しながら日々の生活に意識した取り組みが出来た。また、保護者の様々な意見から保護者がどのように感じているのか等要望も知ることが出来た。教職員全員で全学年分のアンケートの把握に努めて他の学年の意見も共有し、保護者の想いに共通理解を持つことができた。様々な意見がある中で、要望の多い意見をピックアップして、全職員で具体的に話し合う機会を持ち園運営に活かしていく。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	教職員各々が自発的に学ぶ姿勢を持ち、見聞きしたり自ら調べた内容を保育に実践し深めていく。
2	教職員間の連携強化	連絡事項は全教職員での情報共有に努め、伝達もれなきように連携を図っていく。
3	安全管理体制の充実	訓練実施の頻度と時間帯を見直し、様々な状況下で対応力を養っていく。
4	安全管理体制の充実	子どもたちが安全な園生活を送るため、施設及び備品類の点検を定例化して行う。
5	園全体の発展	保護者アンケートの意見から、教職員各々が園全体の発展を考えて行動に移していく。

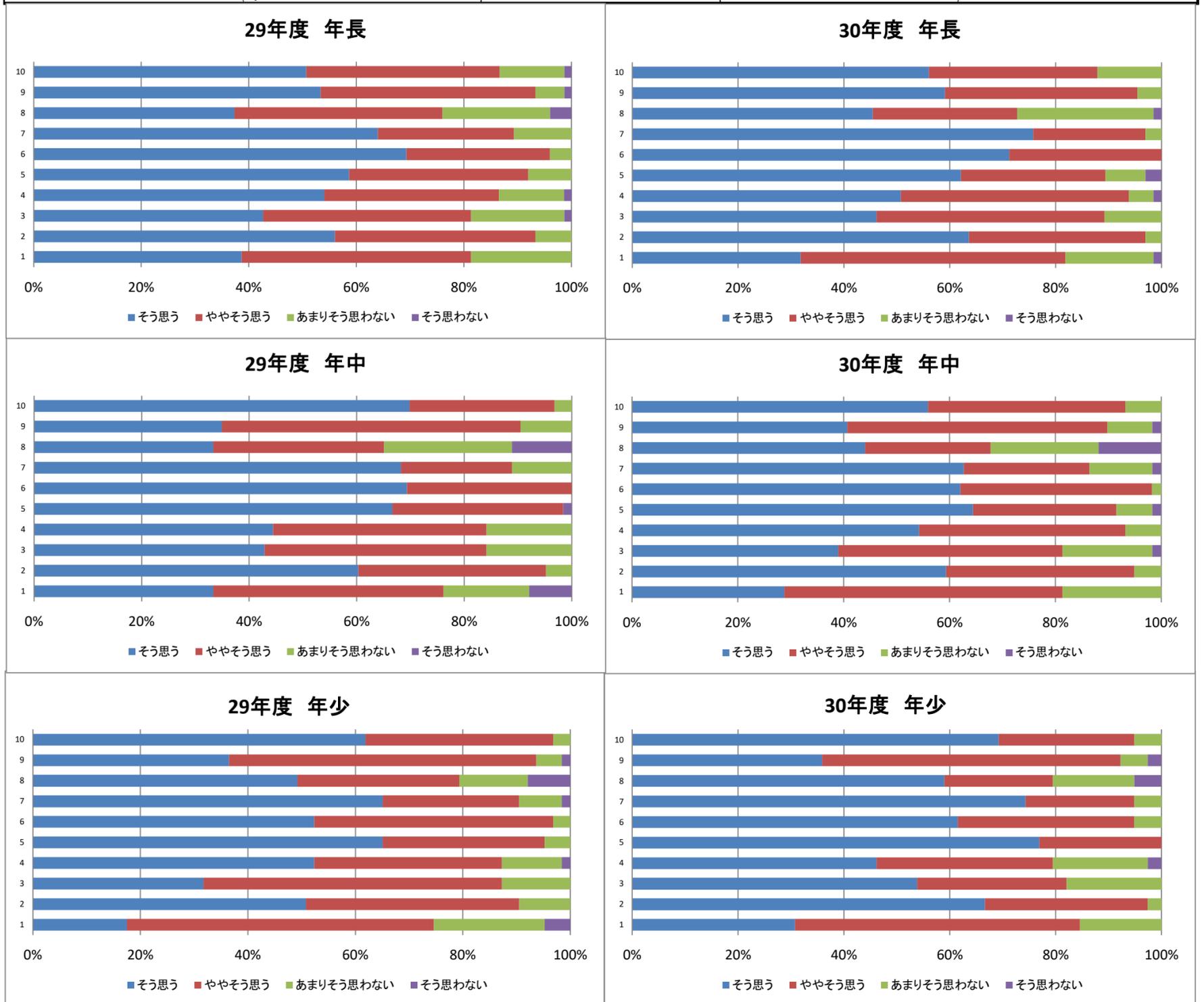
平成30年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台明德幼稚園

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうという姿勢が見られますか？
質問6	質問7	質問8	質問9	質問10
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、プール活動を楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動やプール活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？



■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

◇項目1

今年度、年少、年中、年長共に80%以上の結果になり、取組みの成果が上がってることをうれしく思います。中には恥ずかしくて挨拶できないという回答もありましたので、自分から挨拶をする習慣が身につくように、引き続き指導していきます。

◇項目2

全学年で引き続き良い結果が出て、更に昨年度より伸びていることで子どもたちの感受性の豊かさが育っていることを感じる事ができます。散歩や今年度取り組んだ園内の野菜の収穫体験を更に充実させていけるように取り組んでいきます。

◇項目3

年長が伸びているのに対して年中、年少が少し下がっているのは残念です。相手の目を見て聞く事の大切さを丁寧に指導していき、園とご家庭とで実践していけるよう取り組みます。

◇項目4

年中、年長では昨年より良い結果が出ているのに対し、年少は下がっているのは残念です。幼稚園でのお手伝いを通して、他人に対して役立つ喜びや楽しさを実感出来るように言葉がけをし、褒められる事で喜びを感じ、ご家庭でも進んでお手伝いができるよう取り組みます。

◇項目5

良い結果が出ていると思います。園での絵本の貸出しに対し、ご家庭で子ども達に読み聞かせ頂けている保護者の皆様のご協力の賜物です。年少に比べると年中、年長は少し薄れているのは残念ですので、読んでもらう事の楽しさを感じてもらえるように、園での読み聞かせの機会を増やしていきます。

◇項目6

全学年で大変良い結果が出ています。集団生活の中で基本を守るという大切なことを、子ども達が理解し行動できていることはうれしく思います。これからも丁寧に指導していきます。

◇項目7

良い結果が出ています。特に年長が昨年より伸びており、体育指導の中で跳び箱、鉄棒、縄跳びなど体育講師を通じて目標を明確にし、個々に努力し達成感を味わえました。各学年で体育活動を楽しみな時間として捉えられるよう更に良い結果に繋げていきます。

◇項目8

結果が伸び悩んでいて残念です。プールでの活動は個々に差があり、水が苦手という回答もありました。進級テストを増やし、やる気の出る結果に繋げていけるよう入水回数を増やす等、苦手意識がなくなる指導の内容をコーチと連携し工夫していきます。

◇項目9

どの学年も体育活動やプール活動を通じて体が丈夫になったと良い結果が出ていますが、そうは感じないという結果も年中、年少では出ています。項目8での結果も影響していると思われるので、プールでの取組みを工夫し、実感していただけるよう考え進級緒家庭ていきます。

◇項目10

年少、年中に比べると年長で少し下がっているのが残念です。年長になって難しくなったという回答もあり、歌やゲームが中心の年少や年中との差があるかもしれませんので、再度teacherと学年にあった教材と内容の検討をしていきます。

VI. 学校関係者の評価

園を運営していく中でお客様である保護者の方々からの意見はとても重要だと思います。すべての意見を取り入れることは難しいですが、保護者のニーズをしっかりと分析しながら、今後の指導に活かしていきたいです。子ども達は競争心を持ち、新たな目標設定に繋がるように切磋琢磨しています。子ども達の「出来た」という声や喜びを表現する機会を作り出し、学園の評価の一助となるようにサポートしていきたいです。

玉井式学習を取り入れて、子ども達の将来に更に目を向けて教育に力を注いで下さり、子ども達だけでなく、園全体もさらなる発展を望めることと思います。徳育、知育、体育、国際化教育を四本柱として、これからの社会で求められ、役に立てる子ども達の育成に今後とも取り組んでいただきたいです。先生方全員が常に年齢や担任に関係なく子ども達を見て下さり、子ども達も人を大切に作る心が自然と身に付いていることが感じられます。子ども達が安心して通園できる雰囲気があり、保護者目線でも安心して預けられ感謝しています。

以上